

問1 アルコールランプに火をつけるとき、何に火をつけて近づけますか。

1. 別のアルコールランプ 2. 紙のたば 3. ろうそく 4. マッチ

問2 アルコールランプを正しく使うとき、しんは何ミリメートルくらい出ている状態が適切ですか。

1. 約5ミリメートル 2. 約50ミリメートル 3. 約30ミリメートル 4. 約15ミリメートル

問3 アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を、机の端（はし）に置いてはいけなはなぜですか。

1. 器具が冷えて火が消えてしまうから。 2. 器具に風が当たりやすくなるから。 3. 器具が汚れて使えなくなるから。 4. 器具が倒れやすくてあぶないから。

問4 アルコールランプにアルコールを入れるときの正しい方法について説明しているものはどれですか。

1. アルコールはまったく入れずに、芯だけをセットする。 2. 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。 3. 容器からあふれそうになるまで、いっぱい注ぐ。 4. 芯の先が少しぬれるだけの、ごくわずかな量にする。

問5 アルコールランプに火をつけるとき、マッチの火はどの方向から近づけますか。

1. ななめ上から 2. 横から 3. 下から 4. 上から

問6 火を使う実験の準備として、ぬれたぞうきんを近くに置いておくのは、どのようなことにそなえるためですか。

1. 机のよごれ 2. 実験のやりなおし 3. 万が一の事故 4. 道具の片づけ

問7 アルコールランプの火を消すとき、ふたはどのようにかぶせますか。

1. まっすぐ横からすばやくかぶせる 2. ななめ下からゆっくりかぶせる 3. まっすぐ上からゆっくりかぶせる 4. ななめ上からすばやくかぶせる

問8 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、ボンベの切れこみの部分はどちらの向きにしなければなりませんか。

1. 下 2. 左 3. 上 4. 右

問9 アルコールランプを安全に使うために、中に入れるアルコールの量は全体のどれくらいまでにしますか。

1. 5分目（または半分程度） 2. 8分目（または3分の2程度） 3. 2分目（または5分の1程度） 4. 10分目（または満タン）

問10 アルコールランプの火を消すときには、何を使いますか。

1. うちわ 2. ふた 3. 水の入ったコップ 4. ぬれたぞうきん

問11 理科室で「安全に気をつけて実験を行う」のは、何を防ぐためですか。

1. 事故 2. 掃除 3. 宿題 4. 遠足

問12 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、上にする必要があるのはボンベのどの部分ですか。

1. 底の部分 2. 切れこみの部分 3. 平らな部分 4. シールの部分

問13 アルコールランプのしんの長さについて、正しい説明をしているものはどれですか。

1. しんがランプの中に完全にかくれている状態が適切です。 2. 約5ミリメートル出ている状態が適切です。 3. しんがランプの外に10センチメートル以上出ている状態が適切です。 4. 約5センチメートル出ている状態が適切です。

問14 火を使う実験を行うときに、万が一のことにそなえて、必ず近くに置いておくものは何ですか。

1. かわいたぞうきん 2. かわいた紙 3. ぬれたぞうきん 4. あつい手袋

問15 理科室で実験をするときに、けがなどの事故を防ぐために、もっとも大切にしなければならない心構えは何ですか。

1. 安全に気をつけて実験を行うこと 2. 実験をできるだけ早く終わらせること 3. 道具をたくさん並べておくこと 4. 教室をにぎやかにして楽しむこと

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 4 マッチ	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を使います。安全に実験を行うための大切な決まりです。
問2	答え 1 約5ミリメートル	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態が適切です。
問3	答え 4 器具が倒れやすくてあぶないから。	机の端は物が落ちたり倒れたりしやすいため、加熱器具を置くと倒れてしまい大変あぶないからです。
問4	答え 2 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。	アルコールランプのアルコールは、入れすぎを防ぐために全体の8分目（または3分の2程度）までにする必要があります。
問5	答え 2 横から	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を横から近づけます。上から近づけるとあぶないので、必ず横から近づけましょう。
問6	答え 3 万が一の事故	火を使う実験を行うときは、万が一の事故に備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問7	答え 4 ななめ上からすばやくかぶせる	アルコールランプの火を消すときは、安全のためにななめ上からすばやくふたをかぶせます。
問8	答え 3 上	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問9	答え 2 8分目（または3分の2程度）	アルコールランプに入れるアルコールの量は、全体の8分目（または3分の2程度）までにする必要があります。
問10	答え 2 ふた	アルコールランプの火を消すときは、ふたをかぶせて消します。
問11	答え 1 事故	理科室では、あぶない薬品や火を使うことがあるため、事故を防ぐために安全に気をつける必要があります。
問12	答え 2 切れこみの部分	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問13	答え 2 約5ミリメートル出ている状態が適切です。	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態が適切です。長すぎたり短すぎたりしないようにします。
問14	答え 3 ぬれたぞうきん	火を使う実験を行うときは、万が一のことに備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問15	答え 1 安全に気をつけて実験を行うこと	理科室では、けがや火事などの事故を防ぐために、安全に気をつけて実験を行うことが一番大切です。

問1 理科室で「安全に気をつけて実験を行う」のは、何を防ぐためですか。

1. 事故 2. 掃除 3. 宿題 4. 遠足

問2 アルコールランプを安全に使うために、中に入れるアルコールの量は全体のどれくらいまでにしますか。

1. 5分目（または半分程度） 2. 8分目（または3分の2程度） 3. 2分目（または5分の1程度） 4. 10分目（または満タン）

問3 理科室で実験をするときに、けがなどの事故を防ぐために、もっとも大切にしなければならない心構えは何ですか。

1. 安全に気をつけて実験を行うこと 2. 実験をできるだけ早く終わらせること 3. 道具をたくさん並べておくこと 4. 教室をにぎやかにして楽しむこと

問4 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、上にする必要があるのはボンベのどの部分ですか。

1. 底の部分 2. 切れこみの部分 3. 平らな部分 4. シールの部分

問5 火を使う実験の準備として、ぬれたぞうきんを近くに置いておくのは、どのようなことにそなえるためですか。

1. 机のよごれ 2. 実験のやりなおし 3. 万が一の事故 4. 道具の片づけ

問6 アルコールランプを正しく使うとき、しんは何ミリメートルくらい出ている状態が適切ですか。

1. 約5ミリメートル 2. 約50ミリメートル 3. 約30ミリメートル 4. 約15ミリメートル

問7 火を使う実験を行うときに、万が一のことにそなえて、必ず近くに置いておくものは何ですか。

1. かわいたぞうきん 2. かわいた紙 3. ぬれたぞうきん 4. あつい手袋

問8 アルコールランプに火をつけるとき、マッチの火はどの方向から近づけますか。

1. ななめ上から 2. 横から 3. 下から 4. 上から

問9 アルコールランプの火を消すとき、ふたはどのようにかぶせますか。

1. まっすぐ横からすばやくかぶせる 2. ななめ下からゆっくりかぶせる 3. まっすぐ上からゆっくりかぶせる 4. ななめ上からすばやくかぶせる

問10 アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を実験で使うとき、置いてはいけない場所はどこですか。

1. 倒れやすい机の端（はし） 2. 安定した実験台の上 3. 平らな机の真ん中 4. 倒れる心配のない安全な場所

問11 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、ボンベの切れこみの部分はどちらの向きにしなければなりませんか。

1. 下 2. 左 3. 上 4. 右

問12 アルコールランプにアルコールを入れるときの正しい方法について説明しているものはどれですか。

1. アルコールはまったく入れずに、芯だけをセットする。 2. 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。 3. 容器からあふれそうになるまで、いっぱい注ぐ。 4. 芯の先が少しぬれるだけの、ごくわずかな量にする。

問13 アルコールランプのしんの長さについて、正しい説明をしているものはどれですか。

1. しんがランプの中に完全にかくれている状態が適切です。 2. 約5ミリメートル出ている状態が適切です。 3. しんがランプの外に10センチメートル以上出ている状態が適切です。 4. 約5センチメートル出ている状態が適切です。

問14 アルコールランプに火をつけるとき、何に火をつけて近づけますか。

1. 別のアルコールランプ 2. 紙のたば 3. ろうそく 4. マッチ

問15 アルコールランプの火を消すときには、何を使いますか。

1. うちわ 2. ふた 3. 水の入ったコップ 4. ぬれたぞうきん

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 事故 じこ	理科室では、あぶない薬品や火を使うことがあるため、事故 じこ を防ぐために安全に気をつける必要があります。
問2	答え 2 8分目（または3分の2程度 ていど ）	アルコールランプに入れるアルコールの量は、全体の8分目（または3分の2程度 ていど ）までに行なっています。
問3	答え 1 安全に気をつけて実験を行うこと	理科室では、けがや火事などの事故 じこ を防ぐために、安全に気をつけて実験を行うことが一番大切です。
問4	答え 2 切れこみの部分	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問5	答え 3 万が一の事故 じこ	火を使う実験を行うときは、万が一の事故 じこ に備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問6	答え 1 約5ミリメートル	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態 じょうたい が適切 てきせつ です。
問7	答え 3 ぬれたぞうきん	火を使う実験を行うときは、万が一のことに備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問8	答え 2 横から	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を横から近づけます。上から近づけるとあぶないので、必ず横から近づけましょう。
問9	答え 4 ななめ上からすばやくかぶせる	アルコールランプの火を消すときは、安全のためにななめ上からすばやくふたをかぶせます。
問10	答え 1 倒れやすい机の端（はし） たお つくえ はし	アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具は、安全のために倒れやすい机の端などには置かないようにします。
問11	答え 3 上	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問12	答え 2 全体の8分目（または3分の2程度 ていど ）までに抑え おさ て入れる。	アルコールランプのアルコールは、入れすぎを防ぐために全体の8分目（または3分の2程度）までにする必要があります。
問13	答え 2 約5ミリメートル出ている状態 じょうたい が適切 てきせつ です。	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態 じょうたい が適切 てきせつ です。長すぎたり短すぎたりしないようにします。
問14	答え 4 マッチ	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を使います。安全に実験を行うための大切な決まりです。
問15	答え 2 ふた	アルコールランプの火を消すときは、ふたをかぶせて消します。

問1 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、上にする必要があるのはボンベのどの部分ですか。

1. 底の部分 2. 切れこみの部分 3. 平らな部分 4. シールの部分

問2 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、ボンベの切れこみの部分はどちらの向きにしなければなりませんか。

1. 下 2. 左 3. 上 4. 右

問3 アルコールランプのしんの長さについて、正しい説明をしているものはどれですか。

1. しんがランプの中に完全にかく
しょうたい てきせつ
れている状態が適切です。
2. 約5ミリメートル出ている状態
しょうたい てきせつ
が適切です。
3. しんがランプの外に10センチメ
しょうたい てきせつ
ートル以上出ている状態が適切で
す。
4. 約5センチメートル出ている
しょうたい てきせつ
状態が適切です。

問4 アルコールランプを安全に使うために、中に入れるアルコールの量は全体のどれくらいまでにしますか。

1. 5分目（または半分程度） 2. 8分目（または3分の2程度） 3. 2分目（または5分の1程度） 4. 10分目（または満タン）

問5 アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を実験で使うとき、置いてはいけない場所はどこですか。

1. 倒れやすい机の端（はし） 2. 安定した実験台の上 3. 平らな机の真ん中 4. 倒れる心配のない安全な場所

問6 アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を、机の端（はし）に置いてはいけないのはなぜですか。

1. 器具が冷えて火が消えてしまう
から。
2. 器具に風が当たりやすくなるか
ら。
3. 器具がよご
れて使えなくなるか
ら。
4. 器具がたお
れやすくてあぶないか
ら。

問7 アルコールランプにアルコールを入れるときの正しい方法について説明しているものはどれですか。

1. アルコールはまったく入れず
しん
に、芯だけをセットする。
2. 全体の8分目（または3分の2
ていど おさ
程度）までに抑えて入れる。
3. 容器からあふれそうになるま
ようき
で、いっぱい注ぐ。
4. 芯の先が少しぬれるだけの、ご
しん
くわずかな量にする。

問8 アルコールランプの火を消すとき、ふたはどのようにかぶせますか。

1. まっすぐ横からすばやくかぶせ
る
2. ななめ下からゆっくりかぶせる
3. まっすぐ上からゆっくりかぶせ
る
4. ななめ上からすばやくかぶせる

問9 理科室で実験をするときに、けがなどの事故を防ぐために、もっとも大切にしなければならない心構えは何ですか。

1. 安全に気をつけて実験を行うこ
と
2. 実験をできるだけ早く終わらせ
ること
3. 道具をたくさん並べておくこと
なら
4. 教室をにぎやかにして楽しむこ
と
こころがま

問10 理科室で「安全に気をつけて実験を行う」のは、何を防ぐためですか。

1. 事故 2. 掃除 3. 宿題 4. 遠足

問11 アルコールランプに火をつけるとき、何に火をつけて近づけますか。

1. 別のアルコールランプ 2. 紙のたば 3. ろうそく 4. マッチ

問12 アルコールランプを正しく使うとき、しんは何ミリメートルくらい出ている状態が適切ですか。

1. 約5ミリメートル 2. 約50ミリメートル 3. 約30ミリメートル 4. 約15ミリメートル

問13 火を使う実験を行うときに、万が一のことにそなえて、必ず近くに置いておくものは何ですか。

1. かわいたぞうきん 2. かわいた紙 3. ぬれたぞうきん 4. あつい手袋 てぶくろ

問14 火を使う実験の準備として、ぬれたぞうきんを近くに置いておくのは、どのようなことにそなえるためですか。

1. 机のよごれ 2. 実験のやりなおし 3. 万が一の事故 4. 道具の片づけ かた

問15 アルコールランプに火をつけるとき、マッチの火はどの方向から近づけますか。

1. ななめ上から 2. 横から 3. 下から 4. 上から

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 2 切れこみの部分	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問2	答え 3 上	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問3	答え 2 約5ミリメートル出ている状態が適切です。	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態が適切です。長すぎたり短すぎたりしないようにします。
問4	答え 2 8分目（または3分の2程度）	アルコールランプに入れるアルコールの量は、全体の8分目（または3分の2程度）までに行なっています。
問5	答え 1 たお つかえ はし 倒れやすい机の端（はし）	アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具は、安全のために倒れやすい机の端などには置かないようにします。
問6	答え 4 器具が倒れやすくてあぶないから。	机の端は物が落ちたり倒れたりしやすいため、加熱器具を置くと倒れてしまい大変あぶないからです。
問7	答え 2 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。	アルコールランプのアルコールは、入れすぎを防ぐために全体の8分目（または3分の2程度）までに行なう必要があります。
問8	答え 4 ななめ上からすばやくかぶせる	アルコールランプの火を消すときは、安全のためにななめ上からすばやくふたをかぶせます。
問9	答え 1 安全に気をつけて実験を行うこと	理科室では、けがや火事などの事故を防ぐために、安全に気をつけて実験を行うことが一番大切です。
問10	答え 1 事故	理科室では、あぶない薬品や火を使うことがあるため、事故を防ぐために安全に気をつける必要があります。
問11	答え 4 マッチ	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を使います。安全に実験を行うための大切な決まりです。
問12	答え 1 約5ミリメートル	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態が適切です。
問13	答え 3 ぬれたぞうきん	火を使う実験を行うときは、万が一のことに備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問14	答え 3 万が一の事故	火を使う実験を行うときは、万が一の事故に備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問15	答え 2 横から	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を横から近づけます。上から近づけるとあぶないので、必ず横から近づけましょう。

問1 アルコールランプを正しく使うとき、しんは何ミリメートルくらい出ている状態が適切ですか。

1. 約5ミリメートル 2. 約50ミリメートル 3. 約30ミリメートル 4. 約15ミリメートル

問2 アルコールランプを安全に使うために、中に入れるアルコールの量は全体のどれくらいまでにしますか。

1. 5分目（または半分程度） 2. 8分目（または3分の2程度） 3. 2分目（または5分の1程度） 4. 10分目（または満タン）

問3 アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を実験で使うとき、置いてはいけな場所はどこですか。

1. 倒れやすい机の端（はし） 2. 安定した実験台の上 3. 平らな机の真ん中 4. 倒れる心配のない安全な場所

問4 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、ボンベの切れこみの部分はどちらの向きにしなければなりませんか。

1. 下 2. 左 3. 上 4. 右

問5 アルコールランプの火を消すとき、ふたはどのようにかぶせますか。

1. まっすぐ横からすばやくかぶせる 2. ななめ下からゆっくりかぶせる 3. まっすぐ上からゆっくりかぶせる 4. ななめ上からすばやくかぶせる

問6 アルコールランプに火をつけるとき、マッチの火はどの方向から近づけますか。

1. ななめ上から 2. 横から 3. 下から 4. 上から

問7 理科室で「安全に気をつけて実験を行う」のは、何を防ぐためですか。

1. 事故 2. 掃除 3. 宿題 4. 遠足

問8 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、上にする必要があるのはボンベのどの部分ですか。

1. 底の部分 2. 切れこみの部分 3. 平らな部分 4. シールの部分

問9 アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を、机の端（はし）に置いてはいけなものはなぜですか。

1. 器具が冷えて火が消えてしまうから。 2. 器具に風が当たりやすくなるから。 3. 器具が汚れて使えなくなるから。 4. 器具が倒れやすくてあぶないから。

問10 理科室で実験をするときに、けがなどの事故を防ぐために、もっとも大切にしなければならない心構えは何ですか。

1. 安全に気をつけて実験を行うこと 2. 実験をできるだけ早く終わらせること 3. 道具をたくさん並べておくこと 4. 教室をにぎやかにして楽しむこと

問11 アルコールランプにアルコールを入れるときの正しい方法について説明しているものはどれですか。

1. アルコールはまったく入れずに、芯だけをセットする。 2. 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。 3. 容器からあふれそうになるまで、いっぱい注ぐ。 4. 芯の先が少しぬれるだけの、ごくわずかな量にする。

問12 アルコールランプの火を消すときには、何を使いますか。

1. うちわ 2. ふた 3. 水の入ったコップ 4. ぬれたぞうきん

問13 火を使う実験の準備として、ぬれたぞうきんを近くに置いておくのは、どのようなことにそなえるためですか。

1. 机のよごれ 2. 実験のやりなおし 3. 万が一の事故 4. 道具の片づけ

問14 アルコールランプに火をつけるとき、何に火をつけて近づけますか。

1. 別のアルコールランプ 2. 紙のたば 3. ろうそく 4. マッチ

問15 アルコールランプのしんの長さについて、正しい説明をしているものはどれですか。

1. しんがランプの中に完全にかくれている状態が適切です。 2. 約5ミリメートル出ている状態が適切です。 3. しんがランプの外に10センチメートル以上出ている状態が適切です。 4. 約5センチメートル出ている状態が適切です。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 1 約5ミリメートル	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態が適切です。
問2	答え 2 8分目（または3分の2程度）	アルコールランプに入れるアルコールの量は、全体の8分目（または3分の2程度）までにする必要があります。
問3	答え 1 倒れやすい机の端（はし）	アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具は、安全のために倒れやすい机の端などには置かないようにします。
問4	答え 3 上	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問5	答え 4 ななめ上からすばやくかぶせる	アルコールランプの火を消すときは、安全のためにななめ上からすばやくふたをかぶせます。
問6	答え 2 横から	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を横から近づけます。上から近づけるとあぶないので、必ず横から近づけましょう。
問7	答え 1 事故	理科室では、あぶない薬品や火を使うことがあるため、事故を防ぐために安全に気をつける必要があります。
問8	答え 2 切れこみの部分	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問9	答え 4 器具が倒れやすくてあぶないから。	机の端は物が落ちたり倒れたりしやすいため、加熱器具を置くと倒れてしまい大変あぶないからです。
問10	答え 1 安全に気をつけて実験を行うこと	理科室では、けがや火事などの事故を防ぐために、安全に気をつけて実験を行うことが一番大切です。
問11	答え 2 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。	アルコールランプのアルコールは、入れすぎを防ぐために全体の8分目（または3分の2程度）までにする必要があります。
問12	答え 2 ふた	アルコールランプの火を消すときは、ふたをかぶせて消します。
問13	答え 3 万が一の事故	火を使う実験を行うときは、万が一の事故に備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問14	答え 4 マッチ	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を使います。安全に実験を行うための大切な決まりです。
問15	答え 2 約5ミリメートル出ている状態が適切です。	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態が適切です。長すぎたり短すぎたりしないようにします。

問1 理科室で実験をするときに、けがなどの事故を防ぐために、もっとも大切にしなければならない心構えは何ですか。

1. 安全に気をつけて実験を行うこと
2. 実験をできるだけ早く終わらせること
3. 道具をたくさん並べておくこと
4. 教室をにぎやかにして楽しむこと

問2 火を使う実験を行うときに、万が一のことにそなえて、必ず近くに置いておくものは何ですか。

1. かわいたぞうきん
2. かわいた紙
3. ぬれたぞうきん
4. あつい手袋

問3 アルコールランプのしんの長さについて、正しい説明をしているものはどれですか。

1. しんがランプの中に完全にかくれている状態が適切です。
2. 約5ミリメートル出ている状態が適切です。
3. しんがランプの外に10センチメートル以上出ている状態が適切です。
4. 約5センチメートル出ている状態が適切です。

問4 アルコールランプの火を消すとき、ふたはどのようにかぶせますか。

1. まっすぐ横からすばやくかぶせる
2. ななめ下からゆっくりかぶせる
3. まっすぐ上からゆっくりかぶせる
4. ななめ上からすばやくかぶせる

問5 アルコールランプに火をつけるとき、何に火をつけて近づけますか。

1. 別のアルコールランプ
2. 紙のたば
3. ろうそく
4. マッチ

問6 理科室で「安全に気をつけて実験を行う」のは、何を防ぐためですか。

1. 事故
2. 掃除
3. 宿題
4. 遠足

問7 アルコールランプを正しく使うとき、しんは何ミリメートルくらい出ている状態が適切ですか。

1. 約5ミリメートル
2. 約50ミリメートル
3. 約30ミリメートル
4. 約15ミリメートル

問8 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、上にする必要があるのはボンベのどの部分ですか。

1. 底の部分
2. 切れこみの部分
3. 平らな部分
4. シールの部分

問9 火を使う実験の準備として、ぬれたぞうきんを近くに置いておくのは、どのようなことにそなえるためですか。

1. 机のよごれ
2. 実験のやりなおし
3. 万が一の事故
4. 道具の片づけ

問10 アルコールランプに火をつけるとき、マッチの火はどの方向から近づけますか。

1. ななめ上から
2. 横から
3. 下から
4. 上から

問11 アルコールランプの火を消すときには、何を使いますか。

1. うちわ
2. ふた
3. 水の入ったコップ
4. ぬれたぞうきん

問12 アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を実験で使うとき、置いてはいけない場所はどこですか。

1. 倒れやすい机の端（はし）
2. 安定した実験台の上
3. 平らな机の真ん中
4. 倒れる心配のない安全な場所

問13 アルコールランプにアルコールを入れるときの正しい方法について説明しているものはどれですか。

1. アルコールはまったく入れずに、芯だけをセットする。
2. 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。
3. 容器からあふれそうになるまで、いっぱい注ぐ。
4. 芯の先が少しぬれるだけの、ごくわずかな量にする。

問14 アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具を、机の端（はし）に置いてはいけないのはなぜですか。

1. 器具が冷えて火が消えてしまうから。
2. 器具に風が当たりやすくなるから。
3. 器具が汚れて使えなくなるから。
4. 器具が倒れやすくてあぶないから。

問15 実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるとき、ボンベの切れこみの部分はどちらの向きにしなければなりませんか。

1. 下
2. 左
3. 上
4. 右

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 1 安全に気をつけて実験を行うこと	理科室では、けがや火事などの事故を防ぐために、安全に気をつけて実験を行うことが一番大切です。
問2	答え 3 ぬれたぞうきん	火を使う実験を行うときは、万が一のことに備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問3	答え 2 約5ミリメートル出ている状態が適切です。	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態が適切です。長すぎたり短すぎたりしないようにします。
問4	答え 4 ななめ上からすばやくかぶせる	アルコールランプの火を消すときは、安全のためにななめ上からすばやくふたをかぶせます。
問5	答え 4 マッチ	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を使います。安全に実験を行うための大切な決まりです。
問6	答え 1 事故	理科室では、あぶない薬品や火を使うことがあるため、事故を防ぐために安全に気をつける必要があります。
問7	答え 1 約5ミリメートル	アルコールランプのしんは、約5ミリメートル出ている状態が適切です。
問8	答え 2 切れこみの部分	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。
問9	答え 3 万が一の事故	火を使う実験を行うときは、万が一の事故に備えて、必ずぬれたぞうきんを近くに置いておきます。
問10	答え 2 横から	アルコールランプに火をつけるときは、マッチの火を横から近づけます。上から近づけるとあぶないので、必ず横から近づけましょう。
問11	答え 2 ふた	アルコールランプの火を消すときは、ふたをかぶせて消します。
問12	答え 1 倒れやすい机の端（はし）	アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具は、安全のために倒れやすい机の端などには置かないようにします。
問13	答え 2 全体の8分目（または3分の2程度）までに抑えて入れる。	アルコールランプのアルコールは、入れすぎを防ぐために全体の8分目（または3分の2程度）までにする必要があります。
問14	答え 4 器具が倒れやすくてあぶないから。	机の端は物が落ちたり倒れたりしやすいため、加熱器具を置くと倒れてしまい大変あぶないからです。
問15	答え 3 上	実験用ガスコンロにガスボンベを取り付けるときは、ボンベの切れこみの部分を上にします。